

都市再生整備計画（菊池中心市街地地区）事後評価原案に対する意見募集の結果及び市の考え方について

都市再生整備計画（菊池中心市街地地区）事後評価原案について、市民の皆さまから意見を募集したところ、ご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。寄せられましたご意見とこれに対する市の考え方について、次の通りお示しします。

1. 募集期間 : 令和元年7月3日（水）～7月24日（水）
2. ご意見の件数等 : 2件（1名）
3. ご意見の取扱い
 - ① 反映・・・ご意見を踏まえ案を修正したもの 1件
 - ② 補足・・・ご意見に対して市の考え方で補足説明するもの 1件
 - ③ 参考・・・今後の取組みの参考とさせていただくもの 0件

4. 市民の意見と市の考え方

No.	頁	該当箇所	市民の意見	意見に対する市の考え方	取扱い
1	2	指標3 「単位」	すでにお気づきかもしれませんが、「人／比」となっておりますが、「人／日」などの typo ではないでしょうか？（様式2—2の上部の記述では「人／日」となっているようです。）	ご指摘のとおりです。修正します。	①

2	2	指標 1, 3, 4「効果発現要因」	<p>図書館の利用者の一人として、指標 1 の評価値が、目標値の 2.35 倍 になっていることや、H30.5 の人口 49,204 人（菊池市 HP）を基準とすれば、菊池市の全員が 1.91 回利用しているという驚異的な数値だと考えます。（熊本市の管轄する図書館 5 か所の H30 年度入館者数は公開資料を集計すると 128 万人で、これを H30.5 の人口 73.9 万人を基礎とすれば、一人あたり 1.73 回ということになります。文章量の制限があることは理解できますが、図書館の整備をもっとアピールすることはできないのでしょうか。</p> <p>上記の点とも関係しますが、指標 3、指標 4 について「1 年以内に達成の見込み」としながらも、「効果発現要因」からは、どのようにして「1 年以内に達成」するのかというイメージが伝わってきません。図書館の整備により、従前に比し 2 倍以上の利用者となったことを一つの Evidence として、前向きな記述はできないのでしょうか？</p>	<p>○指標 1 について</p> <p>「図書館・中央公民館」の H30 年度利用者数の内訳は、中央図書館 45,097 人（H24：9,386 人）、中央公民館 48,921 人（H24：29,433 人）で、図書館の利用者は大幅に増加しており、ご意見のように今回の図書館の整備効果はかなり大きかったものと認識しております。今回の事後評価については、計画作成時の指標に対する評価をしなければならず、また、お察しのとおり文書量の制限があるため、このような記述になってしまいます。</p> <p>しかしながら、ここに表現できていない図書館の整備効果や、各種イベントの開催情報など、この図書館を市内外へ広く発信し、さらに利用者の増加を目指していきたいと考えております。</p> <p>○指標 3、4 について</p> <p>今回調査（令和元年 5 月実施）では、歩行者交通量は目標値に達しませんでした（調査地点：「御所通り（まちかど資料館前）」「切明（泉屋前）」「立町（元よっこい処前）」「西正観寺（よしのや菓舗前）」「市民広場（西口入り口前）」の 5 地点）。その理由としては、大型連休の後で観光客が少ない時期であったこと等が起因していると推測されます。そのため、フォローアップとして、従前の歩行者交通量調査と同じ時期に、再度実施する予定としており、今後の各施設の利用状況を総合的に判断し、1 年以内の目標達成見込みは「あり」としていません。</p> <p>なお、記述方法については前述したとおりですが、今回の計画により整備した図書館や市民広場の利用者は確実に増加しており、交流や学びの拠点が形成されました。これから各々の施設を繋ぐためにも、関係各課と一体的に取り組むべき課題を整理し、連携を強化することで、本市に訪れた人、住む人がまちなかを回遊する取組みを推進してまいります。</p>	②
---	---	--------------------	--	---	---